

2026年1月29日(木)

令和7年度第2回豊島区医療的ケア児等支援協議会

豊島区在宅医療相談窓口の取組みについて

～ 誰もが安心して在宅療養を受けられるように～

公益社団法人 豊島区医師会

豊島区在宅医療相談窓口・多職種連携拠点

医療ソーシャルワーカー 中辻康博

豊島区 概要

	H26(2014).1	R8(2026).1
人口	271,643人	296,129人
高齢者	54,696人	55,981人
高齢化率	20.10%	18.90%
外国人	19,533人	38,584人
面積	13.01km ²	
人口密度(人/km ²)	20,879	22,762
医療・介護・福祉関係機関		
病院	15	*11
診療所	379	430
(在宅支援診療所)	--	(49)
歯科	--	326
薬局	--	173
訪問看護	18	45
地域包括	8圏域	
CSW	3圏域6名	8圏域16名

豊島区(地域)の医療・介護・福祉の特徴

- 巨大ターミナル池袋を有する高密都市
- 日本一の単身高齢者世帯割合
- 住民の約1割は外国籍
- 人口に対して診療所【多】、病院(病床数)【少】
- 医療機関・訪問看護など比較的充足
- 社協が積極的に活動している。
(コミュニティソーシャルワーカー・終活あんしんセンター など)

【参考データ】 豊島区統計情報・日本医師会地域医療情報システム・東京都福祉局

20260129医療的ケア児支援協議会

豊島区の在宅医療・介護連携の推進

📌 基本方針

地域包括ケアシステムの構築を通じて、誰もが自宅で安心して暮らせるよう、在宅医療と介護の連携を強化する。

📌 具体的施策

多職種による連携会議や研修の開催、相談窓口整備、後方支援病床の確保など、在宅医療と介護の切れ目のない支援体系を目指す。

(豊島区高齢者福祉計画・介護保険事業計画 / 豊島区健康プラン)

在宅医療・介護連携推進事業
(介護保険法 地域支援事業)

- (ア) 地域の医療・介護の資源の把握
- (イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
- (ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進
- (エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援
- (オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援
- (カ) 医療・介護関係者の研修
- (キ) 地域住民への普及啓発
- (ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携(東京都が主体)

豊島区の相談窓口について

病院から在宅への円滑な移行や、在宅療養継続のため、豊島区では医師会に委託し、2012年10月に在宅医療相談窓口を開設。住み慣れた地域・自宅で最期まで安心して暮らしたいという区民・ご家族、支援者(専門職)からの在宅療養に関する個別相談対応を行っています。



○ 豊島区在宅医療相談窓口

医師会館内に設置。医療ソーシャルワーカーが、専門職や区民・ご家族からの在宅療養に関する相談について対応している。

○ 豊島区歯科相談窓口

あぜりあ歯科(口腔保健センター)内に設置。歯科衛生士が在宅・障害者歯科医療の案内、口腔機能についての相談などに対応している。



○ 豊島区服薬相談窓口

豊島区薬剤師会営の池袋あうる薬局において、薬剤師が医療用麻薬の扱い、医療機器の貸出や、お薬相談に対応している。

⇒「医・歯・薬」それぞれに拠点をもち、
看護師会も含めた四師会で連携しながら個別相談対応している。

医療ソーシャルワーカーとは

医療ソーシャルワーカー(Medical Social Worker=MSW)は、社会福祉の立場から、患者さんやそのご家族の経済的、心理的・社会的な生活問題などについて、面接などを通して問題解決のお手伝いを行う**医療と福祉の専門相談員**です。

こんな場所で仕事しています。

主に病院、クリニックなどの医療機関や介護老人保健施設、在宅療養支援窓口などに勤務し、医師や看護師、リハビリスタッフなどの多職種と連携を取りながら仕事しています。

病院や施設では、「医療福祉相談室」・「患者サポートセンター」などの部署に配属されていることが多い。

医療福祉相談室



豊島区在宅医療相談窓口・多職種連携拠点

- 【設置場所】 豊島区医師会館 2階
- 【配置職員】 医療ソーシャルワーカー 4名
- 【相談内容】 ●在宅療養相談(在宅療養支援・入院入所支援)
●退院相談(在宅退院支援・転院支援)
- 【対象者】 専門職 / 区民・ご家族
- 【対応時間】 (月)-(金) 9:00-17:00
- 【対応方法】 電話・来所面接
訪問(病院・自宅など)
WEB(問合わせフォームやSNS)



- 医療・介護専門職だけでなく、区民・ご家族からの相談にも対応。
- 年齢や疾病や障害などで対象者を限定することなく対応。
- 必要に応じて、自宅や医療機関に訪問対応。
- 関係機関や多職種と連携し、利用できる支援やサービスなどへの橋渡しの役割を担う。

豊島区在宅医療相談窓口：個別相談支援

■在宅療養支援

- ・自宅近くに医療機関はあるのだろうか…情報収集したい。
- ・通院が困難になってきたので…。

■在宅退院支援・転院支援

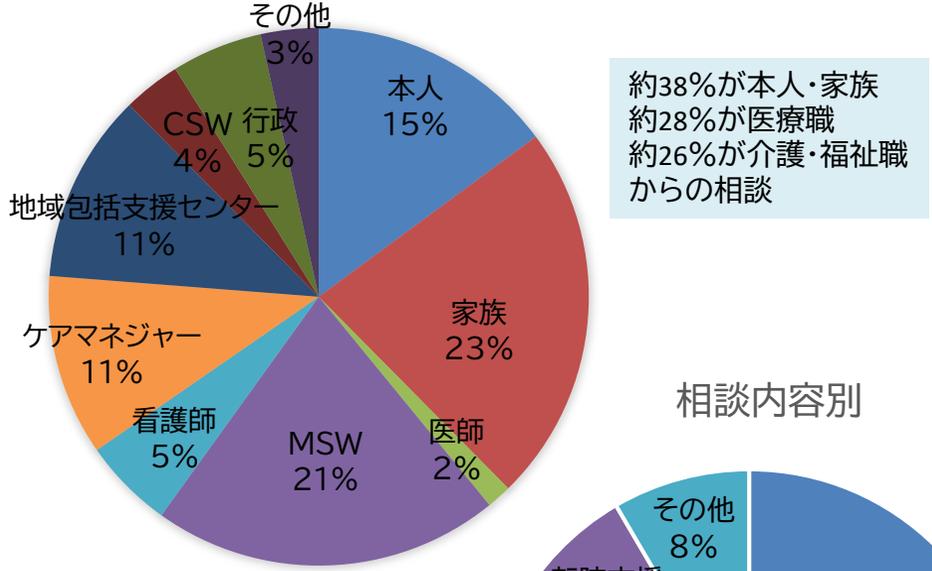
- ・在宅退院を考えているが、どこに何を相談したらよいか…
- ・入院先から転院調整先の医療機関のリストはもらったけど…



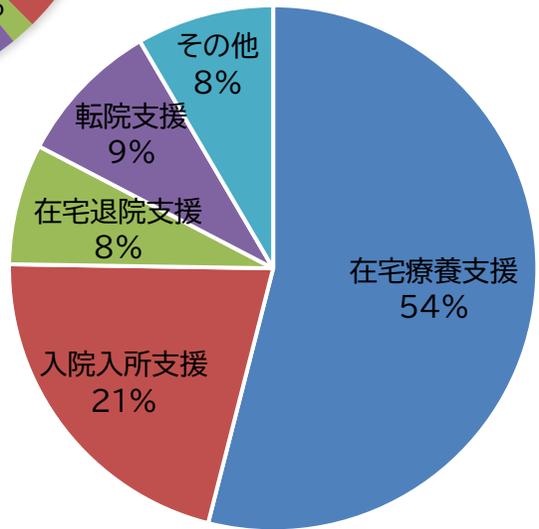
今後の方針を一緒に考え、必要に応じて関係機関の紹介や、連絡調整のお手伝いさせていただきます。

(令和6年度個別相談支援) 豊島区在宅医療相談窓口実績

相談者別

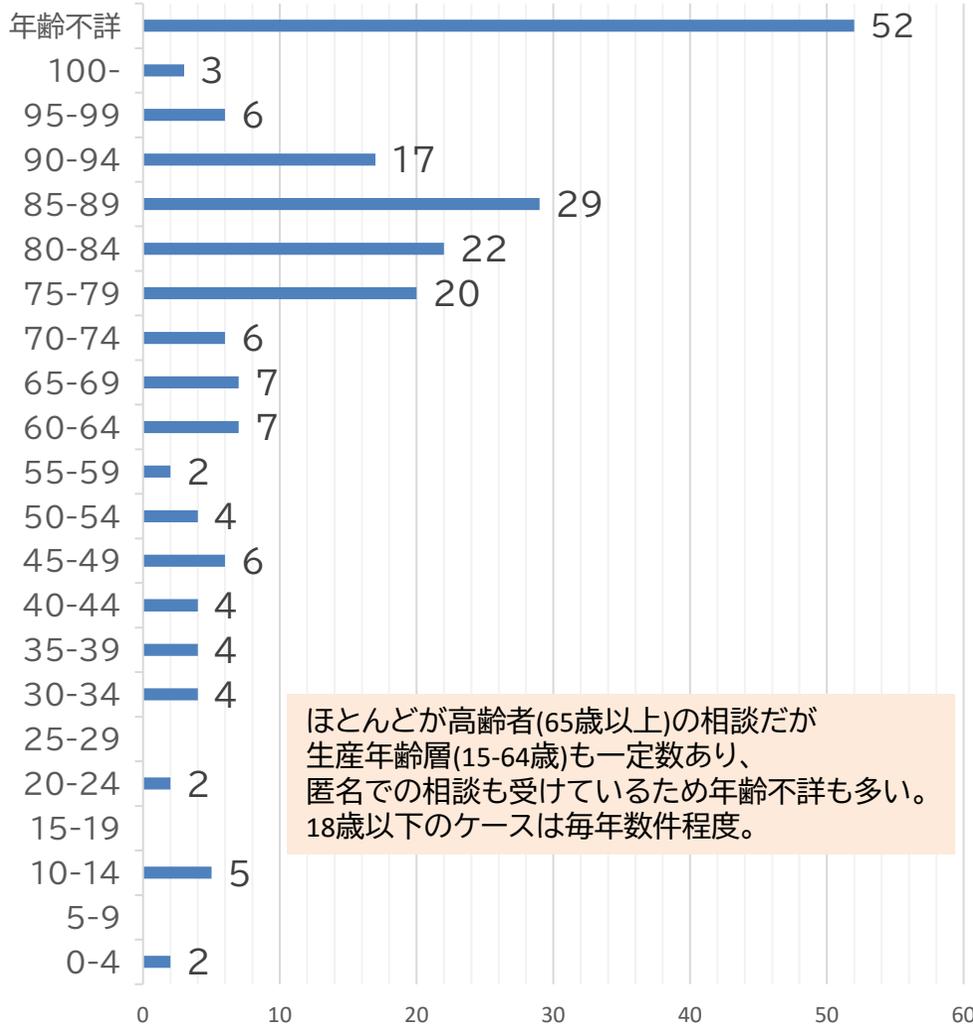


相談内容別

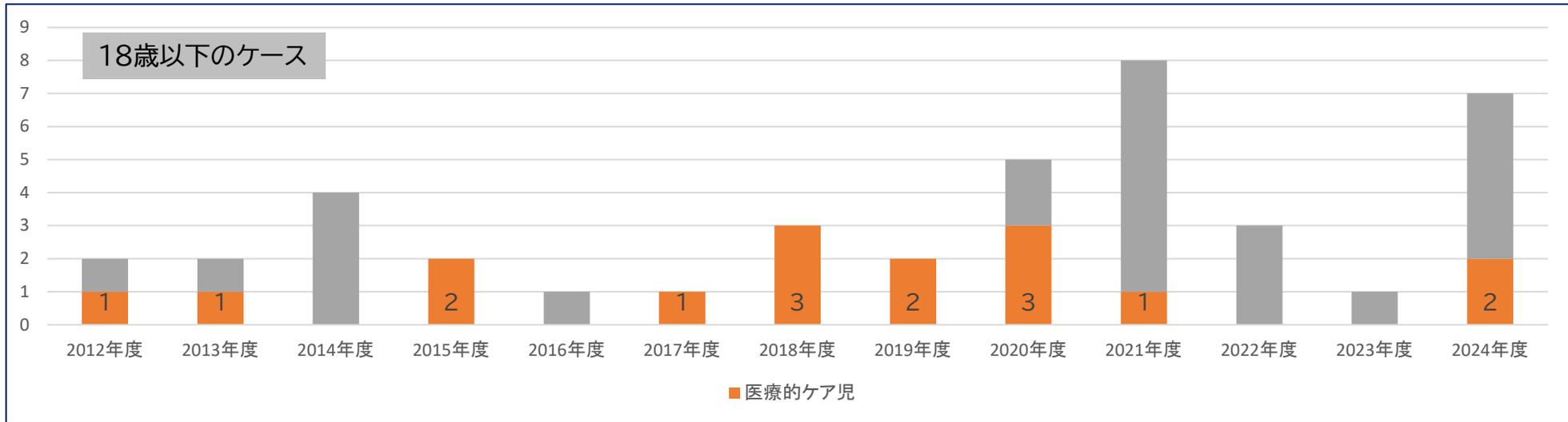


在宅療養支援: 訪問診療・通院先、在宅療養時の相談(約54%)
 入院入所支援: 在宅療養時の入院等相談(約21%)
 在宅退院・転院支援: 入院中の相談(約17%)

相談対象者 (年齢別)



在宅医療相談窓口(個別相談)



窓口開設以降、医療的ケア児等支援は16件。【年齢】【紹介経路】【相談者】【相談内容】別データは以下の通り

【年齢】

年齢	人数
0歳	5
1歳	1
2歳	2
3歳	1
10歳	1
12歳	1
13歳	1
15歳	1
16歳	2
18歳	1
計	16

【紹介経路】

機関	件数
医療機関	8
訪問看護	3
行政機関	5
計	16

【相談者】

相談者	件数
医師・歯科医師	2
看護師	4
保健師	1
MSW	3
相談員	1
家族	5
計	16

【相談内容】

相談内容(分類)	件数
在宅療養相談	11
在宅退院支援	5
計	16

●(家族より)医療的ケア児の対応可能な訪問看護ステーションの情報が知りたい。
→(開設当初)小児未経験のステーションも多く、一緒に成長していくことを理解してもらい、家族が望むケアの実現に向けて調整・支援。

●(病院MSWより)家族が復職にあたり、県外の病院より転入・在宅退院予定。小児対応の訪問診療を紹介してほしい。
→転入の可能性があるとのことので、入院先のMSWより事前確認。情報提供し調整依頼。

在宅医療相談窓口・多職種連携拠点の取り組み

個別相談支援だけでなく、豊島区の在宅療養を支える多職種が円滑に連携できるような様々な取り組みを実施。

■地域の医療・介護資源の把握

→在宅医療機関 訪看アンケートの実施など

■在宅医療連携推進会議と6つの検討部会

■切れ目のない在宅医療・介護の提供体制の構築推進

「在宅療養後方支援病床確保事業」「24時間診療提供体制の検討・整備」

■医療・介護関係者の情報共有

「ICT活用サポート」「地域包括圏域ごとの多職種連携の会」

■医療・介護関係者の研修

「病院内での理解促進研修」「東京都入退院時連携強化研修」

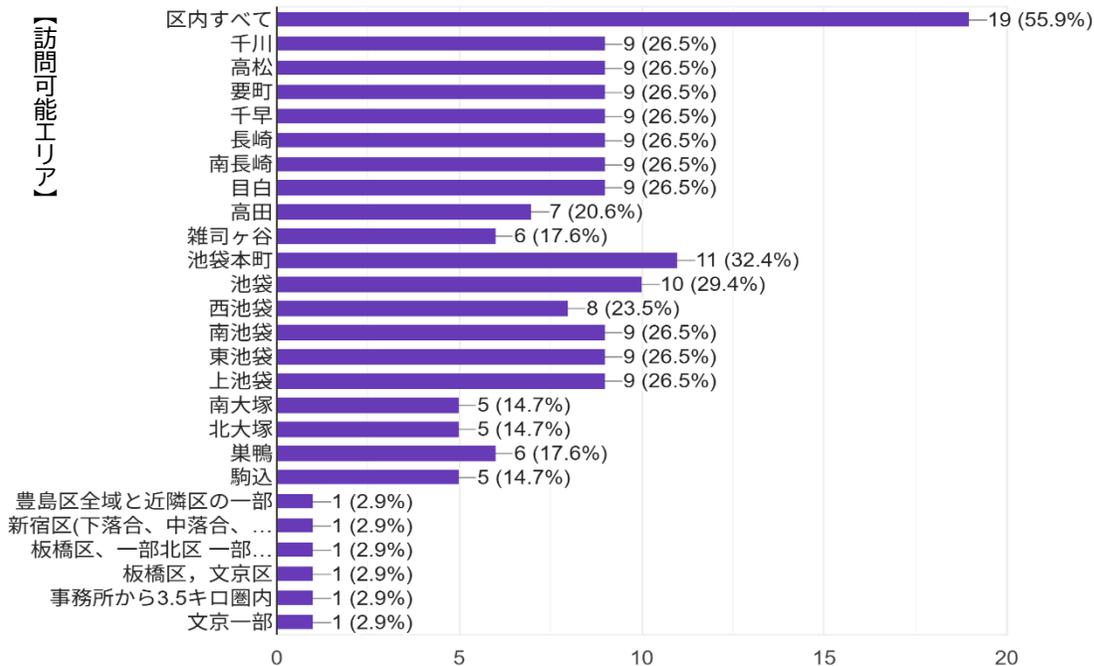
■地域住民への普及・啓発

「区報・ケーブルTVなど通した広報活動」「区民向け講演会・公開講座」 など



【地域の医療・介護資源の把握】

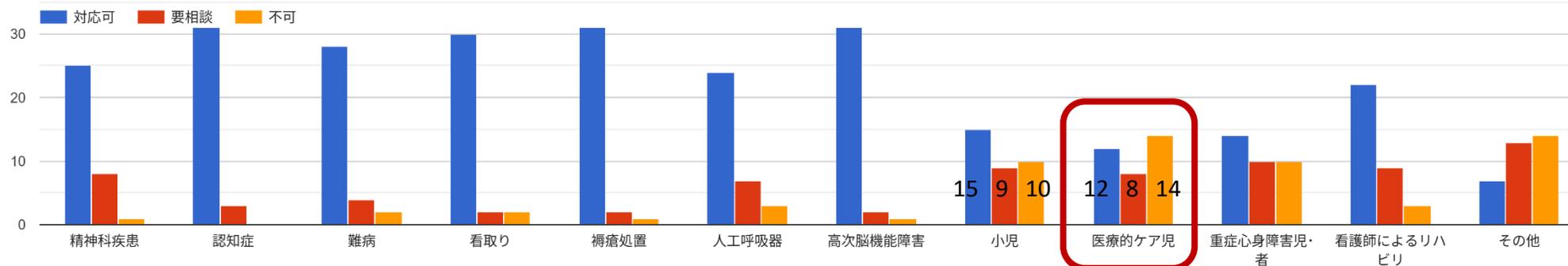
区内訪問看護ステーション向けにアンケート実施 (実施期間: 令和7年5月1日～6月30日 回答数: 34(約76%))



訪問可能エリアや所属職種や対応領域・言語などを確認 (令和7年5月1日時点)

- 8割以上が24時間対応(電話・必要時訪問)
- 20か所が区内全域訪問対応可
- 英語・中国語についての対応
→約半数が翻訳機活用で対応可
- 医療的ケア児の対応(34回答のうち)
対応可: 12(約35.0%)
要相談: 8 (約23.5%)

【訪問可能な領域】



まとめ：医療的ケア児等支援における在宅医療相談窓口の役割

～ 誰もが安心して在宅療養を受けられるように～

【現状】

- 医療的ケア児等の小児相談件数は多くないが、支援ニーズは存在。
- 医療機関・行政・学校など、多機関・多職種連携が不可欠。
- 区外医療機関との広域的な連携が必要。

【課題】

- 在宅医療相談窓口の周知不足
- 地域の社会資源(支援・サービス)の把握、広域的な連携体制の強化

【目指すべき姿】

「医療×介護」「病院×地域」「住民×社会資源」など連携・支援のつなぎ役

- ➔年齢・疾患を問わない在宅医療相談窓口として支援を継続。
- ➔多機関・多職種と連携した切れ目のない伴走支援。
- ➔区外医療機関を含めた広域連携と周知の強化。





豊島区在宅医療相談窓口・多職種連携拠点
豊島区医師会高齢者総合相談センター
(地域包括支援センター)

入室の際は
マスク着用を
お願いします。



ご清聴ありがとうございました。